

令和 元 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 2年(2020年) 3月16日
札幌市立日章中学校

1 本校の学校教育目標

日にあらたに 日々にあきらかに

高い理想を求める生徒(意)
たくましい知性をみがく生徒(知)
美しい友情に結び合う生徒(情)

2 本年度の3つの重点目標

< 重点目標 ① > 落ち着いた学校・環境づくり

- ・生徒理解と生徒に寄り添う生徒指導
- ・生徒たち自らの手による学校づくり(自治活動)
- ・生活の三本柱(時間を守る、身なりを整える、正しい言葉遣い)
- ・社会に開かれた教育課程の編成

< 重点目標 ② > 学ぶ力の育成

- ・分かる、できる、楽しい授業づくり
- ・学びの習慣づくり ・相談体制づくり
- ・総合的な学習の時間の充実

< 重点目標 ③ > 豊かな心の育成

- ・思いやりの心、自己肯定感、社会性の醸成
- ・道徳性の涵養と道徳の時間の充実
- ・特別活動(学級活動、生徒会活動、学校行事)の充実

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	現況および改善に向けた方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標① 落ち着いた学校・環境づくり	生徒理解を基盤とした生徒に寄り添う生徒指導が展開されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部を中心に指導の方針を教職員間で共有し、それによる生徒指導が効果的に行われていた。 ・生徒に関わる情報の「報告・連絡・相談」を迅速かつ確実に行うことで、生徒理解に基づいた生徒指導が行われていた。 ・教育相談週間等を活用しながら生徒理解を進め、一層個を大切に生徒指導に当たる。 	◎	◎
	生徒たちによる主体的な学校づくりが進められているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の伝統である「日章のあいさつ」「合唱」「ボランティア」を中心とした生徒が主体的にかかわる学校づくりは継続されている。 ・生徒が本校卒業後も誇りに思えるような活動としていくために、それぞれの活動の意義を生徒活動部中心に、全教職員で再確認し、共通認識の基に指導に当たる。 	◎	◎
	生徒の基本的な生活習慣が確立されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立に向けて、養護教諭や栄養教諭による指導や保護者への啓発なども含め、多くの関係者が携わり、定着を目指している。 ・生活の3本柱(時間を守る・身なりを整える・正しい言葉遣い)を中心に、生徒の自治活動と連動させながら、指導の更なる充実を目指した。 ・教員間に指導の差がでないよう、指導体制の確認を行いながら指導に当たる。 	◎	◎
	社会に開かれた教育課程が編成、実践されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事予定、月間行事予定(学校ホームページにも掲載)、年間指導計画(教科)等の配布、また年間7回の学校公開日の設定、年間3回の授業参観日の設定、学年PTA・学級PTAの開催、学校ホームページへの情報公開等を通して、保護者や地域の方々に本校教育課程の周知と理解を図った。 	◎	◎
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪ボランティアやスノーキャンドルなど、参加した生徒たちにたくさんの工夫や努力が見られ、主体的に取り組んでいるように感じた。 ・あいさつも校内ではよくしていると思われる。 ・合唱コンクールを観覧したが、歌声も聴く態度も素晴らしかった。とても落ち着いていると感じた。 				

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	現況および改善に向けた方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標② 学ぶ力の育成	充実した日々の授業実践が行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 「分かる・できる・楽しい」授業づくりに向けた研修(研修会や教科会での情報交流、授業が主体的、対話的で深い学びとなるよう授業改善)を一層進めていく必要がある。 生徒の基礎・基本の定着・充実に向けて、今後ともICTを活用した授業づくりやTTによる指導改善の充実など、工夫していく必要がある。 「教科アンケート」の実施・分析による授業改善の推進の継続。 	◎	◎
	生徒がいつでも相談できる体制が整えられているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初(5月)と11月の教育相談期間を通して、不安定な生徒の心のケアに取り組むことができた。 教育相談活動と期末懇談等を通して、学習に関する「困り感」の発見に努める。 	◎	◎
	生徒の「学び」の習慣づくりに向けての取組が効果的に成されているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 本校の「学ぶ力」育成プログラムと連動させて、「学習だより」の発行、「朝学習」や「放課後学習会」「長期休業中の学習会」の更なる充実、「年間指導計画の配付」等を継続実施する。また、言語活動の充実のために長期休業中における図書館の開放をした。 「全国学力・学習状況調査」等の結果を活かし、生徒実態の把握をし、指導の充実を努める。 家庭学習の習慣化のため、家庭学習計画・記録表の活用方法の継続と改善を目指す。 	◎	◎
	総合的な学習の時間の充実が図られているか	A	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の全面实施に向けた指導計画や内容の再構築を図る。 学習内容のレポート発表を全校規模で実施した。これにより、生徒には3年間の見通しをもった学習となるように、また、今年度より発表の場を保護者へ公開することで、理解を深めてもらうよう留意した。今後も継続させ、保護者への学習内容・成果への理解の一助としていただけるよう努めていきたい。 	◎	◎
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の様々なアイデアで学びの場が充実していると感じる。 子どもは家庭環境や友人関係などに不安があると学ぶ意欲も低くなってしまっているので、学習以外の困りごとなども発見できるとよいと思う。 子どもたちと日々のコミュニケーションが大切であろう。 				

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	現況および改善に向けた方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標③ 豊かな心の育成	一人一人の生徒に役割と居場所が与えられているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校・学年・学級が生徒の自己有用感を育むことができる場所となるように取り組む。 いじめ防止に向けた取組の充実を行う。 	◎	◎
	教育活動全体を通して道徳性の涵養と道徳の時間の充実が図られているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育活動全体(教科・諸活動)における横断的な視点に立った指導の充実が図れた。 今年度から、「道徳の時間」が教科化されたことから、その意義と評価に対する考え方を地域・保護者へ周知徹底する。 	◎	◎
	特別活動を通して生徒の社会性が醸成されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の「主体的かつ協働的」な活動となるよう、さらなる特別活動の充実と社会性の育成を図る。 	◎	◎
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の大切さをいつも感じております。家庭、学校、社会において、それぞれが深く関わりをもつことが大切であり、豊かな心を育ててほしいと思っております。 				

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	現況および改善に向けた方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重要指標	生徒たちは楽しく学校生活を送っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な学校を実感できる取組の更なる充実。 「生活の三本柱」を根幹として基本的生活習慣の確立を目指す指導の充実。 「分かる・できる・楽しい」授業づくり。 	◎	◎
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 残念ながら楽しくないと感じる子どもも中にはいると思う。その子たちが楽しいと思えるようにどうしていくかが課題だと思う。 				